

## 第3回半田市議会定例会総務委員会委員長報告書

当総務委員会に付託された案件については、本日、午前11時から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第52号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

前回の入札が不調となり、前回の工事計画から工期が20日短縮されているが、工期は守られるのか。とに対し、

設計業者と調整し年度内に工事が終了するように計画の変更を行いました。とのこと。

なぜ、今年度内での工事の完了をする必要があるのか。年度を越えての工期の日程は、なぜ計画できなかったのか。とに対し、

会計年度独立の原則及び予算単年度主義により、今年度予算でご議決いただいた事業については、原則として今年度中に実施する必要があります。計画等の見直しにより、年度内での工事の完了が可能であると判断したため、このような計画としました。とのこと。

前回の入札の不調後、計画についてどのような変更があったのか。また、それにより工事に影響はないのか。とに対し、

耐震補強工事での鉄筋挿入工法に使用される部材のロス率を最小限に見込み、また、建物の活用内容が変更にならない範囲での施工方法や外構工事の見直しを行いました。とのこと。

今後工事が進んでいくと、結果、部材の使用量等が見直し前と同等必要になり、補正予算で対応するということになるようなことはないのか。とに対し、

計画の見直しについては、現段階で見直せる範囲内での変更を行ったが、今後、工事が進み着工前には予測できない不確定な工事の必要性が発生した場合には、補正予算での対応が必要となる可能性もあります。とのこと。

本体工事とその他の設備工事を別で入札する方法もあったと思うが、今回の工事はなぜ一括で行う必要があるのか。とに対し、

赤レンガ建物が通常とは違うレンガ構造物であるということと、工期等の面から合理的であるという点から一括での工事の計画としました。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。